

麻酔科・集中治療部

a. 体制—当該年度の特徴・スタッフ等

2021 年度の麻酔科管理件数は 3583 件であった。秋までは例年並みの症例数であったが、年明けに COVID-19 第 6 波の影響で BCP が発動されたことにより 1-3 月は症例数が大きく落ちこんだ。そのため年間では前年度比 134 件の減少であった。当日申し込みの緊急症例数は 402 件と前年度比 54 件の減少であった。麻酔科管理の予定手術 8 列、24 時間 365 日の麻酔科当直（ICU 当直兼務が殆んど）という当科の大原則は引き続き維持することができた。人員的には、心臓麻酔を取り纏めていた副部長 1 名が年度前半に、また医員 1 名が年度後半にそれぞれ退職してどちらも穴埋めがなく厳しい面があった。心臓麻酔は資格を有する非常勤医が指導に当たった。産休育休取得者はいなかった。

また ICU 入室症例は 6 4 2 例で、多くの ICU 研修を希望する医師と共に充実した ICU 活動を行うことができた。

【スタッフ】

副院長・麻酔科部長・中央手術部長	足立健彦
麻酔科主任部長	加藤茂久
集中治療部主任部長	宮崎嘉也
麻酔科部長	黒寄明子
副部長（短時間勤務正職員）	原朋子
副部長	直井紀子
副部長（5/31 退職）	白井直人
医員（短時間勤務正職員）	柚木圭子
医員	中村緑
医員	伊藤史織
医員（11/30 退職）	相山佑樹
医員	辻和也
専攻医	吉田裕治
専攻医（4/1 採用）	岸本杏珠

b. 診療実績—臨床統計等

麻酔科管理症例数 3 5 8 3 件
内 全身麻酔数 3 1 5 8 件
内 緊急手術数 4 0 2 件

集中治療部入室症例数 6 4 2 件
内 人工呼吸症例数 1 5 3 件
内 血液透析症例数 4 6 件

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 柚木圭子、加藤茂久
腹腔鏡下幽門側胃切除術において経横隔膜的に縦隔気腫と著明な頸部皮下気腫を来した症例
日本麻酔科学会第 67 回関西支部学術集会 2021/9/4-10/4 (Web)
- 2 黒寄明子、足立健彦
一般病院における小児術中急変シミュレーションを考える —手術室看護師とともに—
日本小児麻酔学会第 26 回大会 2021/10/17 (宮城)
- 3 森長郁慧、黒寄明子、伊藤史織、岩田良佳、足立健彦
Fogarty®カテーテルを使用して分離肺換気を行った、胸腔鏡下肺葉切除術の一例
日本小児麻酔学会第 26 回大会 2021/10/16-29 (Web)
- 4 岸本杏珠、黒寄明子、柚木圭子、伊藤史織、岩田良佳、足立健彦
Sotos 症候群の小児に対する開腹腎尿管全摘術の麻酔経験
日本小児麻酔学会第 26 回大会 2021/10/16-29 (Web)
- 5 黒寄明子
コロナ禍における超緊急帝王切開術のシミュレーション教育を考える
日本臨床麻酔学会第 41 回大会 2021/11/5-6 (北海道)
- 6 中村 緑、足立健彦
高齢者の全身麻酔後に Anesthesia Mumps を来した症例
第 34 回日本老年麻酔学会 2022/2/11-12 (Web)
- 7 宮崎嘉也、足立健彦
早期治療介入を行ったにもかかわらず救命できなかった New-onset refractory status epilepticus の 1 例
第 49 回日本集中治療医学会学術集会 2022/3/18-20 (Web)
- 8 吉田裕治、森長郁慧、宮崎嘉也、足立健彦
門脈気腫をきたした過酸化水素水誤飲の一例
第 48 回日本集中治療医学会学術集会 2021/2/12 (兵庫)

【研究】

- 1 麻酔台帳 I T 化を利用した周術期合併症の要因分析
(原 朋子)
- 2 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究
(直井紀子)
- 3 新生児、乳児の鏡視下手術の麻酔管理
(黒寄明子)
- 4 小児前投薬における経口ミダゾラムシロップの有用性に関する研究
(黒寄明子)
- 5 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻酔の有用性および安全性に関する研究
(加藤茂久)
- 6 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況
(加藤茂久)
- 7 当院における下肢切断術後の予後に関する研究
(加藤茂久)
- 8 敗血症患者管理におけるプレセプシン測定の有効性に関する検討
(宮崎嘉也)